

とうかいじしん  
 知っておきたいことば 「東海地震」

夏休み中の8月11日の朝、静岡県を中心に大きな地震があり、富山市でも震度3のゆれを観測しました。この地震がおきた時、ニュースで「東海地震」という言葉が繰り返し出てきました。富山県に住む私たちは、たまにしか聞かないかもしれませんが、とても重要なことなので紹介しておきましょう。

「東海地震」は、静岡県西部を中心とした地域でおきることが予想されている地震のことです(図1)。地震のエネルギーの大きさを表す「マグニチュード」という単位で示すと、東海地震の大きさは、マグニチュード8前後の、非常に大きな地震となると予測されています。この地震がおきると、静岡県とその周辺の広い地域で、建物が倒れたり、大規模な地割れや山くずれが発生して、大変な被害が出ると考えられています。

さて、「いつ、どこで、どのくらいの地震がおきるか」を予想するのは、とても難しいのですが、「東海地震」については、地震のおこる“場所”“大きさ”おおよその“とき”が予想されています。その理由は、昔からこの地域で、ほぼ同じ規模の地震が繰り返しおきていることです。表1に示したとおり、この地域では、マグニチュード8前後の地震が、およそ100年から150年の周期でおこっています。現在は最後の地震から155年ほどたっており、東海地震がおきる可能性が高まっているのです。

8月11日の地震は、東海地震の発生が予測されている地域でおこったものの、地震の規模はマグニチュード6.5と比較的小さいことなどから、発生が予想されている「東海地震」とは違うと考えられています。もし、マグニチュード8の東海地震が発生すれば、そのエネルギーは今回の地震のおよそ180倍にもなります。富山県でも大きな被害が出るかもしれません。ですから私たちも常に地震に備えておくことが大切です。また、東海地震がおこった時に何ができるのか、家族や友達と話し合っておくことも役にたつでしょう。

(2009年8月 田中 豊)

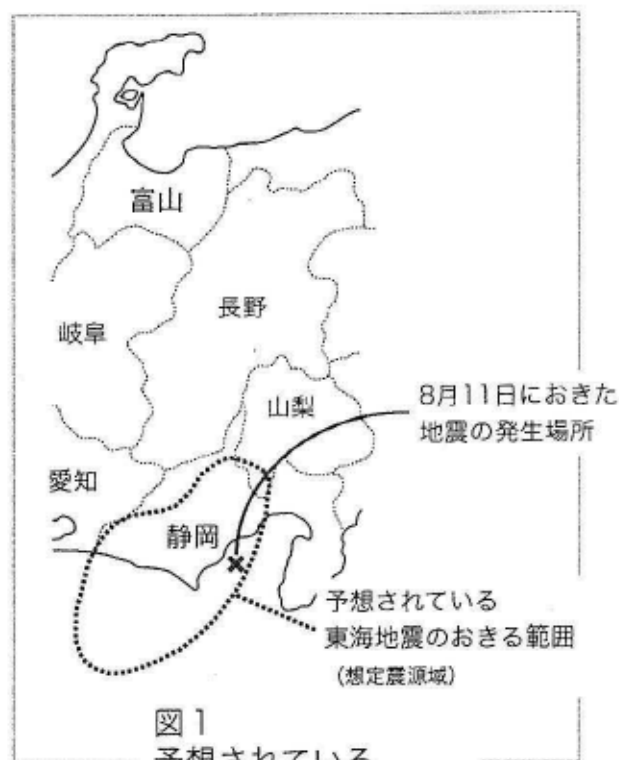


図1  
 予想されている  
 東海地震のおきる範囲

1498年	<small>めいおう</small> 明応地震 (M8.4)
⋮	<この間 107年>
1605年	<small>けいちよう</small> 慶長地震 (M7.9)
⋮	<この間 102年>
1707年	<small>ほうえい</small> 宝永地震 (M8.4)
⋮	<この間 147年>
1854年	<small>あんせいとうかい</small> 安政東海地震 (M8.4)
⋮	<現在までに 155年がたっている>
?	<small>とうかい</small> 東海地震 (M8くらい?)

表1  
 東海地震のおきる範囲で  
 現在までにあった地震とその間隔

\* 震度は地震の“ゆれの大きさ”を表す単位です。マグニチュードは地震の“エネルギーの大きさ”(規模)を表す単位です。ふつう、震度は地震のおきた場所に近いほど大きく(ゆれが大きく)、遠いほど小さく(ゆれが小さく)なります。